

問題 1-3 次の文章を読んで、後の問にこたえなさい。

解答と解説

「医師ガシエの肖像」・・・「ひまわり」ほど有名ではありませんが、ヴィンセント・ファン・ゴッホの代表作の一つです。この絵が当時、百億を超える史上最高額で落札されたというニュースを見た時、絵の価値とお金ということについて、子ども心にも考えたものです。当然ですがゴッホは随分前に亡くなっていますし、生前は絵はほとんど売れずにお金に困った生活でした。その絵が死後百年近くを経て数十億、百億を超える金額で売られるとはどういうことなのでしょう。

「存命中はゴッホの才能に気づく人がほとんどいなかったが、後世の人々がその天才性に気付いた」などという話はよく語られるところで、他にもゴッホに関する逸話はいくつもあります。

同じく画家のゴーギャンと意気投合して同居するも、喧嘩が絶えない生活になってすぐに解消。ゆがんだような作風の絵はゴッホの精神世界を表現しているが、周囲には理解されずになかなか購入者はあらわれない。そして、失意のうちに・・・しかし二十世紀後半になってゴッホの絵に対する評価が上がっていき、前述のように高額で取引されるようになる。

以上のようなストーリーはよく知られていると思います。それが事実なのかは別として、こうした天才の悲劇のストーリーのようなものが作品の価値を支えているそうです。ここまでゴッホの具体例

ではその物語は一体誰がつくっているのでしょうか？ シンプルに考えると絵を高値で売りたい側＝画商ということになります。画商は今まであまり知られていなかったり、作品数が少ないような画家に注目して、悲劇の天才のストーリーをつくります。もちろんある程度はジジツに基づいているとは思いますが、この場合事実か否かは大きな問題ではありません。人々を惹きつけるようなストーリーになっていることの方がはるかに重要です。そしてその物語はやがてじわじわと世界中に広がっていき、その画家の作品の評価を高めることにつながり、価格的にも上昇していきます。

つまり、^(イ)ギコウ的に緻密で大変優れているとか、表現が大胆であるとか、作品そのものの美点ではなく、作品は画家の人生そのものを含めての物語と一体となったものとして売られているのです。

ですからゴッホと似たように生前にはほとんど作品が売れなかったり、財政的に厳しい生活をおくったり、評価がおもしろくなかった画家たちも現代では物語と一体となった作品として高値で売られていて、買手もつくのです。モディリアーニやフェルメールなどもその例に入ると言えそうです。

そうすると、画商によってつくられた物語で値段を釣り上げられて買わされていると思うかもしれませんが、そうした数十億以上の値段でも買手がいることも事実です。もちろん転売が目的の人もあると思いますが、純粋に作品の価値の値段として数十億以上を出す人もいます。絵画という芸術作品といえども市場の原理ですから、買いたい人がいるからこそその高値となっているとも言えます。ここまで画商の具体例

そんな高額での作品の売買は、作品の本質とは無関係でなんだか納得できないという方もあるかもしれません。そうし考え方もわかりませんが、美術に限らず物語も含めての作品という考え方は、物語の作り手が自己なのか他者なのかにかかわらず、モーツァルトなどの作曲、ストラディヴァリなどのヴァイオリン、スポー

ツなどの選手の活躍の世界にもたくさんありますから、私たちはそうした物語と作品が一体になった世界観が好きなのかもしれません。

(宇古水伊 舞「ぼくはバツハが得意じゃない」より)

問一 一次の選択肢のうち、本文と合っているものはどれか。

- 1 筆者は画家の物語を作り値段を釣り上げるような画商のやり方を批判している。・批判はしていない。
- 2 物語によって評価を上げる手法は、絵画の世界独自のものである。・絵画以外の具体例が記載されている。
- 3 画商などによってつくられる物語は、全てが作り話である。・全てが作り話とは書かれていない。
- 4 絵画がかなり高額な値段でも、作品によっては買いたい人はいる。

問二 傍線部の物語と作品が一体となった世界観とあるが、その具体例として合致しないものはどれか？

- 1 世界選手権で何度も優勝したスポーツ選手の記念館に行ったら、選手愛用の用具や、その功績を支えたコーチや家族の苦勞などが写真と共に多数展示されていた。・これはわかりやすい物語
- 2 ピアノ制作会社の動画では、音の良さや弾きやすさだけでなく、日本のピアノづくりの歴史や、そのピアノを制作するにいたったきっかけ、過去の失敗談なども盛り込んでいる。・歴史や失敗談も物語
- 3 どちらの会社のテニスラケットを購入するのか迷っていたが、両方の会社のウェブサイトを見て、打球速度のデータがより詳しい会社のラケットを買うことにした。
- 4 長年愛用している漆器の器が欠けてしまったが、二百年以上受け継がれてきた伝統の職人がひとつひとつ丁寧につくったお椀なので、まだ使っている。・受け継がれてきた伝統は物語である。

解答と解説

ワンポイント解説 3の打球速度データが作品と物語の世界観なのは判断しづらいが、「打球速度得るための」話があって、そうした世界観と言えるのでデータだけでは物語ではない。また3は二者比較になっている点も本文から外れていて合致しない。

問三 傍線部の漢字と同じ漢字の熟語を選択肢から選べ。

ア	シジツ	史実	(1)	街のコウホウシ	広報誌
			(2)	カンシカメラ	監視
			(3)	剣道のシハundai	師範代
			(4)	西洋ブンガクシの教授	○ 西洋文学史
イ	ギゴウ的	技巧	(1)	コウザン植物	高山
			(2)	コウミョウな手口	○ 巧妙な
			(3)	コウキユウの平和	恒久の
			(4)	コウリョウとした風景	荒涼とした